

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2024年9月23日 No.32

2024 国際鉄道安全会議① オーストリアの労働組合と意見交換を開催!

※国際鉄道安全会議とは

1988年の東中野事故を契機にJR東労組とJR東日本が労使で呼びかけ、1990年に鉄道の安全について国や立場を超えて話し合う会議として創設されました。この会議を通じて、事故は処罰では無くせないことが論議され、世界の鉄道の安全対策の柱として「責任追及から原因究明へ」の安全哲学が広まりました。会議には各国の鉄道会社（国鉄）や労働組合、研究者などが出席し、安全に関する知見を互いに学び合っています。現在、日本からはJR東労組が出席しています。

9月18日～20日、「2024 国際鉄道安全会議」がオーストリアの地で開催され、JR東労組から加藤委員長、佐々木副委員長の2名が出席しました。今年は初の試みとして、会議前日（17日）に国際鉄道安全会議に出席する労働組合のミーティングが設定され、JR東労組とオーストリアのVidaユニオンとの間で意見交換を行いました。



加藤委員長は、JR東労組の概要やこの間の安全を中心とした取り組みを紹介し、Vidaユニオンからは組織概要のほか、国境を越えて走行する場合の乗務員の労働時間管理の課題について述べられました。

国によって文化やルールに違いはあるにせよ、労働組合同士が意見交換を行うことは有意義であることを双方で確認しました。

その②へ続く

